



嚶鳴同窓会報

編集発行所
990 山形市鉄砲町一丁目
15-64
山形県立山形西高等学校
嚶鳴同窓会
電話 41-3504
振替山形 5-995番

記念碑建立の実現を

母校跡地へ

会長 相沢 栄



それは明治三十五年女子師範・附属小・幼稚園とともに現在の市

民会館・保健所地へ設置され、附属小を中心に西に女子師範・高女、東に附属幼稚園が並び、一人の校長先生のもと一つになって、洵にこの地は本県における女子教育発祥の地でありました。

下が同じく摂政宮でありました時行啓され、再度に亘って御前授業天覧の榮譽を担った由緒深い土地でございます。

近藤哲様へ感謝状贈呈

今年度はこの会報を七月の幹事会で配布できるようにし、更に十月の総会で沢山の方々にお配りできるように計画致しました。このように年々皆様の数多い御意見によってますます親しみある同窓会に育ってまいりますことを心からうれしく思います。

さて、懸案でありました母校跡地へ記念碑を建立することについて、付属小同窓会ポブラ会とそと運びについて話し合っているところ

五月二十九日、東京プリンスホテルでの嚶鳴同窓会東京支部総会の席をお借りして、田中校長先生から近藤哲様への感謝状贈呈がなされました。

私達の先輩(高女七回卒)でいらつしやると共に、奈良女高師卒後母校で教鞭(国語)をとられたいにこやかな御あいさつに、列

又前会長高橋政様の義理の姉上様でいらつしやいます。前回の会報にありますが、多大の漢籍、書道の専門書等の蔵書を御寄附なさいまして、母校の図書館を豊に

近藤哲様よりご寄贈いただいた図書は左記の通りです。
下中弥三郎他編 書道全集 一巻〜二十五巻 平凡社
夏目漱石著 漱石全集 岩波書店 一巻〜十四巻
諸橋徹次著 大漢和辞典 大修館 一巻〜十二巻 大観文彦 大言海

同窓会の皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。私と昔田慶恩先生の後を受けて、皆様の母校の校長に就任しました。皆様が築かれた輝かしい伝統を傷つけることなく、校運の一層の発展に尽力する所存です。前校長に寄せられたと同様のご支援をお願いいたします。

ごあいさつ

校長 田中 吉也



校に限ったことではありません。しかも、生徒の学力が向上すれば自然に解消される事情です。根本原因は、学力がもう一歩伸び悩んでいるためにそれに見合った進路先を選ばざるを得ないという消極性にある、と考えざるを得ません。学力の向上策を何よりも優先的に考えなければならぬので、

幸い、本校では昨年度と今年度の二年にわたって県教育委員会の指定により、「生徒の一層の学力伸張をはかるための学習指導のあり方」の研究に取り組んでおります。同窓会の皆様も事情をご理解の上、陰に陽に御鞭撻下さるようお願いいたします。

57年度同窓会総会のご案内

富岡鐵齋 千字文 座右宝刊行会
安東聖空他 書のころろ 柏書房
鷹見芝香 新葉かな習字日本書館
尾上柴舟 仮名書道講話 文化堂
富岡鐵齋 千字文 座右宝刊行会

富岡鐵齋 千字文 座右宝刊行会
安東聖空他 書のころろ 柏書房
鷹見芝香 新葉かな習字日本書館
尾上柴舟 仮名書道講話 文化堂
富岡鐵齋 千字文 座右宝刊行会

富岡鐵齋 千字文 座右宝刊行会
安東聖空他 書のころろ 柏書房
鷹見芝香 新葉かな習字日本書館
尾上柴舟 仮名書道講話 文化堂
富岡鐵齋 千字文 座右宝刊行会

富岡鐵齋 千字文 座右宝刊行会
安東聖空他 書のころろ 柏書房
鷹見芝香 新葉かな習字日本書館
尾上柴舟 仮名書道講話 文化堂
富岡鐵齋 千字文 座右宝刊行会

富岡鐵齋 千字文 座右宝刊行会
安東聖空他 書のころろ 柏書房
鷹見芝香 新葉かな習字日本書館
尾上柴舟 仮名書道講話 文化堂
富岡鐵齋 千字文 座右宝刊行会

心に浮かぶままに

六月一日
於 西高第一体育館



在校生を前に講演中の石沢照子博士

旧性 松浦照子(松浦弁護士令嬢)昭和十九年第一高女卒、東京女子医大、東大研究室を経て、夫君公成氏と共に渡米研究、免疫学ロプリンE(IGE)の発見者として

に満足し、お返しを望むなりの言葉を御自分のものとし、科学者として、妻として、又母として、その気迫に満ちた半生をユーモアを交えて淡々と語られ、感銘深いものでした。

新入会員を迎えて

昭和五十六年度の山形西高等学校卒業生の嚶鳴同窓会入会式は、六月六日、母校第一体育館において行なわれました。

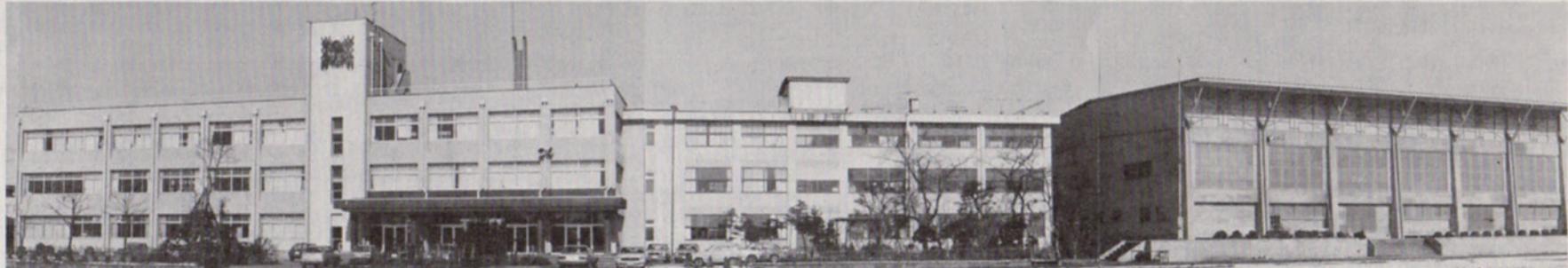
相沢会長の挨拶の後、同窓会より新入会員への記念品(嚶鳴のタ イタック...:徽章として使用する)の贈呈、評議員代表の歓迎のことば、と続き、これにこたえて

石沢理恵子さんが新入会員を代表して挨拶。引き続き各級二名ずつの新幹事の委嘱、紹介、事務局よりの説明、連絡等があり、ここに新たな二七四名の嚶鳴同窓会員を正式に迎えたことになりました。

例年、入会式は卒業式(三月八日)の前日に行なわれて居りますが、一々ご案内はさし上げて居りませんが、多くの先輩会員のおいでを待ちしております。

山形西高第二十八回卒業生クラス幹事紹介(敬称略)

- 一組 大内 理加 古沢由美子
- 二組 高橋 恵子 松田 恵子
- 三組 工藤 紀子 渡辺香代子
- 四組 太田 裕子 斯波 広子
- 五組 小和田みどり 清野 江美
- 六組 太田 孝子 山川 裕子



東京支部総会開催

風薫る五月二十九日、東京プリンスホテルのサンフラワーホールに於て支部総会が開催されました。参加者は来賓十名を含めて一九八名の大盛会でした。

さかのぼって昨年十二月六日、桜蔭会館にて、第一回評議員会が開かれました。大宮先生の支部長就任後初めての顔合せでしたが、先生のきまかい心配りの中で



会は進行し、副支部長の神尾ひささんの司会によって常任委員十六名(会計・庶務・監査・記録各二名)が選出され、今後の東京支部の御尽力を約束されました。

さて、どのようにすれば沢山の会員の方々にアピールするのかわからないと検討した結果、服部公一氏に講演を依頼することに意見がまとまりました。その後津田英語会の同窓会館をお借りして、前記採決事項等

総会にむけて検討修正して参り、この当日をむかえたものです。さわやかな日でした。芝増上寺の緑が五月の陽差しを満満と受けて、若々しく輝いていました。次々とお集りの方々の受付を致しながら、この会が初めてという方の笑顔や、あちこちでなつかしい山形の思い出話をうれしうれな語る先輩の方々に、私も胸があつくなりました。又、高輪の先輩の方々の御尊顔を拝し、尚一層の御健康を心より祈る思いでした。

御来賓の母校長の田中吉也先生、会長相沢栄様、前会長高橋政様、恩師代表藤島平先生の西高の近況報告を含めてのお話、なつかしさがひとしおでした。九十才になられた近藤哲先生に、校長先生より賞状をたたえての感謝状と記念品が送られたとき、会場はわんぱかりの拍手が湧き起こり胸をうちました。服部氏の講演も、かのおばあ様の生き方に写し見る山形の女性の有様に味わい深い思いを残したようでした。嚶鳴の一員であることが、誇りに思えた一日でした。

さくらんぼの里寒河江は目下最盛期に入り初夏の小さな可愛いルビーを一粒一粒いたわり天候を気遣いながらの作業出荷と云う活気が街全体に満ち満ちています。一昨年は嚶鳴同窓会を当地で開催させて頂きました。それを機会に知らないままに生活していた当地の同窓の先輩後輩が急に親睦を深め得た事は大変うれしき事でした。そして大きな力がわいた様な感じがします。その節は行届かないことの多かった事は御許下さい。其の各地の代表の方々のお力で名簿も出来規約の他の準備も出来ました。従来の寒河江支部を西村山一円の会としてより有力にそして親睦と信頼の出来る会でありたいと願いを込めて進めています。五月に発会の予定でございまして、今年はずっと色々々な御事情が多くておくれしてしまいました。当地でもそれぞれの御立場で一人一人が大きな力となり若い

方々も共に中心になっての活躍振りには皆様に高く評価されて居ります。伝統ある校風の中で育った皆様の心の中に時代は変化多様化しても尊い教えが時代に即しいいつまでも生き続けて居ることに誇りを持って頑張っています。西村山地区寒河江支部も一日も早い機会に発会致し度いと思っております。御元氣な皆様とお会い出来る日を今から楽しみにして居ります。その機会がおくれましては誠に申し訳なくお詫び申し上げます。

この一年で、評議員会を何回か重ねている中に、支部会員数は、約一千六百人以上かと推測されました。そしてその方々は学年では深い交流を持っていらつしやることも分りました。支部会員の中には社会的にご活躍の方が多くことも確認して居ります。今後の課題は、支部活動を一層魅力あるものにして、多くの同窓生が一年一度の集いを楽しみながら充足するようになりたいということ、又本部活動に準じて支部の方でも母校や会員の事業に幾分でも協力をしてあげたいということです。来年度の総会の講師に、早くも二、三の候補が出ています。年会費の集まりも順調でうれしいことですが、高いレベルで揃っている会員の方々です。

昭和39年卒 鈴木和子記

婦人少年室長講演会

六月二十四日、本校第二体育館で全校生徒を対象に「婦人と職業」というテーマで講演会を開催した。西高生の一人一人が豊かな職業観、勤労観をもち、しっかりとした人生設計をたてることができるようになることを目的として、進路指導課が計画実施したものである。

講師に、昭和二十五本校(当時山形第四高校)卒業で現山形婦人少年室長の岡田年氏を招き、約一時間お話を聞いていただいた。婦人の労働状況や問題点、女性の職業について、心なげま、いろいろな数値を示しながら、

「真の男女平等とは」 一年 佐藤 聖子
女性の立場とは、どこに置かれているのだろうか。そんな事を考える一時間であった。この講演を機会に男性と女性の平等とは何か少しづつはあがって、わかつたような気がする。が、わかつたような気がする。が、わかつたような気がする。

「企業が女性に求めるものは」 二年 日野 恭子
今回の講演で最も興味を覚えたのは、企業が女子社員に期待するもの、O.L自身が必要と思っているものとの間にずれがあるということ。O.Lは、専門知識や創造力・分析力を必要と求めているのに、企業ではそれらをそれほど求めているのではない。その辺に職業における女子の地位が端的に示されていると思えました。たしかに女子は、一般に家庭に縛られるというハンディがあり、男子に比べて仕事の量が減ることが多いのですが、それだけでなく、職業に対する女性の意識に問題があったと思います。これからは女性も自

分の仕事にもっと強い意欲と責任感をもつていかなければならないと思います。 「自分の職業に誇りと自信を」 三年 松田 葉子
私は今、公務員が、一般企業か迷っている。結局は、安定している公務員が望ましいのだけれども、どんな職業についても、講師の方のような、自分の職業に、誇りと自信のもてる人間になりたいと思つた。

「思い出一杯の香澄町校舎跡地に記念碑をたてたい」という長い間の希望が、ようやく実現されようとしています。 準備会は、第一回が六月二十九日に第二回を七月九日に開き、案をねわっています。多分、秋の総会には立派な記念碑の完成予想図を提示して、会員諸姉の承認を得るべきことと見えています。

「思い出一杯の香澄町校舎跡地に記念碑をたてたい」という長い間の希望が、ようやく実現されようとしています。 準備会は、第一回が六月二十九日に第二回を七月九日に開き、案をねわっています。多分、秋の総会には立派な記念碑の完成予想図を提示して、会員諸姉の承認を得るべきことと見えています。

「思い出一杯の香澄町校舎跡地に記念碑をたてたい」という長い間の希望が、ようやく実現されようとしています。 準備会は、第一回が六月二十九日に第二回を七月九日に開き、案をねわっています。多分、秋の総会には立派な記念碑の完成予想図を提示して、会員諸姉の承認を得るべきことと見えています。

昭和39年卒 鈴木和子記

合唱団結成十周年を迎えて

昭和四十八年に結成された嚶鳴合唱団は、今年で十周年を迎えました。記念行事として、ヨーロッパ演奏旅行を計画しました所、思いがけなく、パチカン宮殿を訪問し、ローマ法王の御前で演奏する栄を賜りました。抒情あふれる日本のハーモニを、ヨーロッパの空に響かせて参りましたと思つた。 十周年と渡欧記念演奏会は、六月二十一日、県民会館で行いました。西高音楽部、合唱団「花野」の賛助出演のもと、すばらしい演奏会となりました。相沢会長さんをはじめ役員の皆様の多大のお力添えのおかげで、満員のお客様をお迎えすることが出来ました。 渡欧に際しても、経費費の後援費より、多大の御餞別を戴きました。結成以来、十年の道のりは、

鬼籍簿

昭和39年卒 多田治子記

大14	高女	大川きくよ
大7	高女	秋葉カクエ
大10	女師本	木田 虎子
大12	高女	垂石 つの
昭9	女師本	床枝 喜代
大5	高女	原田しげの
大12	高女	斎藤まつ枝
昭53	西高	大宮ひとみ
昭55	西高	遠藤 裕子
大11	高女	斯波 花子
大15	高女	中川 綾子
昭19	高女	遠藤きよの
大11	高女	小松 君栄

会員御逝去のお知らせがあれば 弔電をお上げしております。葬儀 間に合うよう事務局までお知らせ下さい。

☎113504 西高内



嚶鳴クラブ 結成

「いくわーファイト」と元気な声がグラウンド一杯に響く。忘れかけていたことが自然に口に出る。声を聞き限り現役そのもの? 動きもモトモトしくなくなった。平均年齢三十七歳の練習風景である。再び母校グラウンドでボールを手にするなんて誰も思わなかった。 昨年、家庭婦人、ママさんソフト大会が開催されたのがきっかけで、クラブを結成。今年一月十五日ソフト仲間が集まり新年会・総会を開き、大先輩も多数出席。発足当時の顧問、高橋元先生、渡部先生もご出席下され、当時は懐しく語り合った。会則もでき、毎年一月十五日に総会を開くことを決議、増々クラブのつながりは深くなるでしょう。クラブのモットーは「教養を高める」ことにあり練習後のいろいろな話から得るものが多く、生活のカツツになっている。日曜のわずかの練習が生活をエンジョイすることを確信しつつ、みんなははりきっています。

昭和39年卒 多田治子記

昭和五十六年度の部活の報告 後輩たちの活躍

昭和五十六年度 体育関係部対戦成績の概要

- 卓球部
 - 東北大会出場
 - 単 秋葉清美
 - 複 秋葉・長橋組
 - 県新人大会
 - 三位 武田明子
- 体操部
 - 県選手権大会
 - 団体 五位
 - 県高校総体
 - 団体 四位
- 水泳部
 - 東北大会
 - 四百リレー 四位
 - 四百Mメドレーリレー 四位
 - 百M自由形四位近藤千恵子
 - 四百M 四位近藤千恵子
 - 県選手権大会
 - 百M平泳二位 庄司淳子
 - 三位 佐藤聖子
 - 二百M平泳二位 庄司淳子
 - 三位 佐藤聖子
 - 県高校総体
 - 団体総合一位
 - 四百Mリレー一位
 - 四百Mメドレーリレー一位
 - 百M自由形一位近藤千恵子
 - 二百M 二位菅野由美子
 - 二百M 二位菅野由美子
 - 四百M 三位近藤千恵子
 - 八百M 三位佐藤みどり
 - 百M背泳 二位栗原敦子
 - 二百M 二位栗原敦子
 - 二百M平泳一位庄司淳子
 - 二位佐藤聖子
 - 百Mバタフライ 二位高橋えり
 - 弓道部
 - 全国インターハイ 出場
 - 東北大会 出場
 - 県一年生大会 団体二位
 - 個人三位(松本直子)
 - 陸上競技部
 - 村山地区高校総体 総合四位
 - 四百M一位 大内理加
 - 四百Mリレー四位
 - バスケットボール部
 - 村山地区高校総体 三位
 - 県高校総体 三位
 - 県新人大会 三位
 - 藤井・高野杯 三位
 - 軟式庭球部
 - 東北大会出場
 - 小和田・阿部組 (2回戦)
 - 羽角・遠藤組 (1回戦)
 - 安達・大場組 (2回戦)
 - 県高校総体
 - 小和田・阿部組、羽角・遠藤組ともにベスト8
 - 団体戦Bブロック優勝
 - 決勝トーナメント三位
 - なぎなた
 - 全国高校選手権大会
 - 東北大会
 - 団体戦三位
 - 演技一位矢作(太田)組
 - 二位武田(石垣)組
 - 三位矢口(林)組
 - 個人戦二位矢口知子
 - 音楽部
 - 全日本合唱コンクール金賞
 - 演劇部
 - 翼を生やした女たち
 - 最優秀
 - Y.T.S賞受賞(二月二十日TV放映)
 - 美術部
 - 東北大会 優良

「嚶鳴」—その由来について—

私共の心の拠り所嚶鳴同窓会の「嚶鳴」の由来を載せて欲しいという要望がありましたので、昭和三十五年発行の山形西高・校友会誌「嚶鳴」より、当時の校長庄司善助先生がお書き下さいました巻頭言「嚶鳴」についてご紹介いたします。抜粋の掲載をご快諾下さいました庄司善助先生に心から感謝申し上げます。

………

「嚶鳴」の名称は、既に数十年前本校草創の時代から用いられたものらしく、本校沿革誌を繰ると、明治三十八年一月の項に「嚶鳴会芸学部ニ於イテ旅順陥落祝捷会ヲ開ク」とある。恐らく校友会の名称であろう。

「嚶鳴」とは、そもそも、詩経の小雅篇・鹿鳴の章に

伐木丁丁(伐木丁丁タリ)
鳥鳴嚶嚶(鳥鳴嚶嚶タリ)
出自幽谷(幽谷ヨリ出デテ)
遷于喬木(喬木ニツツル)

くことであつて、共に「朋友」が「切磋」し「相正」すことを喩えたものであると説いている。即ち「嚶鳴」は雌雄「両鳥」が相寄り、相求めて鳴くを言い、互いに切磋琢磨するを象徴しているというわけである。

又、中国文字における最高の古典として尊ばれている「説文解字」(後漢の許慎著)には「嚶」とは「鳥鳴也」と説かれ、清代の文字学者玉裁による同書の注(「説文解字注」)には、鳥の鳴き声といつても、古書には何鳥たるやとは言っていないので、後世、あるいは、難黄(鶯)の声であるまいかと説をなすものあれど、定かでない旨が記されている……

………吾が山形西高が「嚶鳴」の名にふさわしく、学友相寄り相扶け相励まし、各々その志するところに奮って進むならば、神明の賜とて、大いに幸福をもたらすであろうことを、確信する。

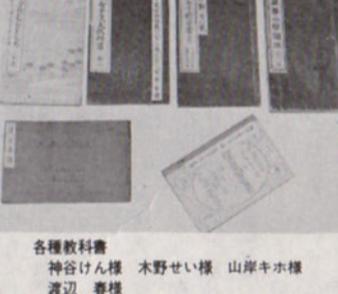
………

創立記念合唱コンクール 嚶鳴同窓会杯は二年六組へ

六月二十五日、母校は八十四回目の創立記念日を迎え、恒例の校内合唱コンクールが行なわれ、審査の結果、全学年が参加し、審査の結果、総合第一位と永田杯は三年一組が獲得。以下第二位は三年三組、第三位は二年六組。一昨年より設置された嚶鳴同窓会杯は二年六組に、Y.T.S賞受賞(二月二十日TV放映)校の部 二位片桐理恵

嚶鳴資料館紹介

嚶鳴資料館は、山形県立図書館より昭和三十六年に移築された石造書庫二階を利用し、旧職員、同窓生あるいはそのご遺族等より寄贈されたゆかりの品々を保管展示している施設である。母校は昭和十九年に校舍焼失という悲劇を経ているため、収蔵品は充実しているとはいえないが、ご好意により



各種教科書 木野せい様 山岸キホ様 神谷けん様 渡辺 春様

さで訴えればいいのか、疑問だらけな協力と団結力によるものだと念しかけたこともあったが、もう一度やってみようと思つて、そのおかげで総合第三位、嚶鳴同窓会杯も獲得できたのではないかと、私達が何かに始まると思つて、私達がたまたま暖か見守つて下さった担任小出先生に深く感謝したい。

資料館で目をひくのは沢山の写真である。明治三十三年山形市立高等女学校第一回卒業写真(旅籠町校舎)、明治四十年発行の創立五周年徒心得・修学旅行の乗(明治四十一年)等も若干ありガラスケース内に展示してある。旧女子職員着用の上衣、着物・袴をはじめ第一高女の冬制服、夏のグレイの制服は人体に著せ保存している。勤労動員中使用した作業衣(九円四十銭と書いた紙シール貼付)や繕いの目立つ紺のセーラーには当時の苦勞がしのげられる。母校には歴代校長の肖像(写真)がない。是非複製額装して長く

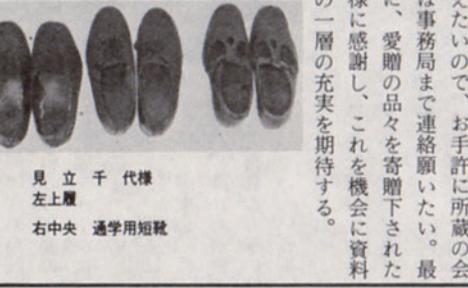


第一高女 夏制服 福竹 冬帽子も同 (右写真)

る数々の品には多くの同窓生の思い出がながる苦であり、今後当会報で順次とりあげる予定である。今回は収蔵品の概略を記して、諸姉のお手許の資料の寄贈をお願いし、母校訪問の折りは是非資料館

年記念絵葉書など貴重な写真が百葉余り、うち四十三点がパネルに複製され壁面に展示されている。大正二年修学旅行隊の列車が出発する写真の、車窓から身を乗り出して手を振る生徒と、袴に下駄履でこれを見送る生徒(下級生であろうか)の、賑やかな声まで聞こえてきそうな場面は、六十余年を経た今も変わらぬ女学生気質を伝え、見飽きることはない。

教科書は、明治・大正・昭和の三時代を網羅し二百余冊を所蔵している。英語のリーダーには片仮名で発音を書きこまれてあったり



見立千代様 立上履 右中央 通学用短靴

職員動向

- 転出
 - 菅田慶恩 校長 社会 退職
 - 高橋匡子 教諭 数学 橋岡高
 - 小原直子 教諭 英語 橋岡高
 - 関 澄夫 主事 山形工業高
- 転入
 - 田中吉也 校長 社会 県立図書
 - 伊藤多喜男 教諭 英語 橋岡高
 - 豊島圭吾 教諭 数学 県教育庁
 - 三上カヲル 主事 県立農業短期大学校 (敬称略)

嚶鳴同窓会経常費決算書 (56年度)

Table with 5 columns: 項目, 当初予算額, 決算額, 増減(△), 摘要. Rows include 入会金, 会費, 雑収入, 計.

Table with 6 columns: 項目, 予算額, 流用額, 現計予算額, 決算額, 残高, 摘要. Rows include 総会費, 会議費, 後援費, 記念品費, 印刷発行費, 事務費, 通信費, 慶弔費, 交通費, 諸費, 名簿準備金, 予備費, 計.

差引残高 (収入決算額) (支出決算額) 1,204,032円 - 997,066円 = 206,966円 残金206,966円は基本金に繰り入れます。 昭和57年4月19日 上記の通り相違ありません。

金谷 睦子 榎 森 房

嚶鳴同窓会経常費予算案 (57年度)

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 前年度予算額, 増減(△), 摘要. Rows include 入会金, 会費, 雑収入, 計.

Table with 6 columns: 項目, 予算額, 前年度予算額, 増減(△), 摘要. Rows include 総会費, 会議費, 後援費, 記念品費, 印刷発行費, 事務費, 通信費, 慶弔費, 交通費, 諸費, 名簿準備金, 予備費, 計.

嚶鳴同窓会基本金決算書 (56年度)

Table with 3 columns: 項目, 金額. Rows include 前年度より繰越し, 記念品代として経常費より, 総会の残金, 銀行利子, 計.

Table with 3 columns: 項目, 金額, 備考. Row: 1. ふくさ代(3,500円×44枚) 154,000 米寿のお祝として

差引残高 2,130,883円 - 154,000円 = 1,976,883円

Table with 2 columns: 校内理事, 編集委員. Lists names like 山口 頼子, 森谷由美子, 矢野 淑子, etc.

会務報告

第7号発行 (57. 2. 25) より第8号発行 (57. 7. 19) まで

- [総会関係] 57年2月16日 幹事会 予算・会場・催物・実行委員など審議 2月18日 開催日・会場を決定 4月6日 実行委員会 5月18日 会場下見、昼食の弁当試食 6月5日 ポスター決定 予算審議など 6月30日 喜寿・米寿の招待者出席申し込み切り 5月24日 東京支部総会 東京プリンスホテル(芝公園内) 服部公一氏(作曲家)のお話 会員数200名の出席あり大盛會裡に終了

事務局だより

会員の皆様、お元気で御活躍のことと存じます。五月初旬の異常高温など、今年空模様もあまりおだやかとは思えません。同窓会の内部結束は新会長を中心に固くお務めされておられます。

卒業後十年は入会金より充当しますが、それ以後は、一クラス二〇〇〇円の会費を納入して下さい。今年度は四十七年度の学年から該当しています。年会費の収入が、同窓会活動の原動力です。クラス会開催時に、ほんの少し余計に集金して、その分を充当して下さい。...

新名簿の完成間近か 予約をどうぞ 名簿編集委員会は、月平均二回、二十回余の作業で、ようやく原簿が完成して印刷所に渡しました。残った大物が索引作りと校正です。会ではないかと、期待しています。

クラス会などの機会に 会報をお配り下さい 「会報など見たことない。」という話をよく聞きます。配布の方法が、クラス幹事に四、五枚位です。ので、広範囲に行きわたるには、少々無理でした。...

編集後記 当8号より会報の発行を七月に変更。前年度の会計決算・会務報告、今年度の予算や事業計画を速やかに会員諸師にお伝えできるのが第一のメリット。従来は年末から新年にかけて編集し二月末に発行してきたが、誰れもが忙しい時期である。日暮れも早い。ゆつたりと仕事をしたいという編集子達の願いもまたこれで叶ったのである。...